

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	02070508	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	ひとり親家庭医療費支給事業	担当部署名	住民課		
		作成責任者職氏名	課長 池西 昌夫	内線	310
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	02健康・福祉	07子育て支援の推進	05子育て生活環境の整備		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和55年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	ひとり親家庭医療費の助成に関する条例	義務付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>生活の安定と児童の健全な育成を図る。</p> <p>②内容</p> <p>ひとり親家庭に対し医療費の一部を助成する。</p>	<p>18歳に達する日以後に最初に迎える3月31日までにある「児童と父」「児童と母」「児童と養育者」(所得制限あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父母が婚姻を解消 ・父または母が死亡 ・父または母が一定程度の障害状態 ・父または母の生死が明らかでない ・父または母が引き続き1年以上遺棄 ・父または母が引き続き1年以上拘禁されている ・母が婚姻によらないで懐胎 ・父母が死亡
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>医療保険の自己負担相当額の一部を負担することにより、受診を容易にし、健康の保持増進を図り、もって福祉の増進に寄与する。</p>	

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	2,758	4,011	2,637	3,389	3,389			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金	1,327	1,990	1,278	1,671	1,671		
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	1,431	2,021	1,359	1,718	1,718			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	388	412	412	412	412		
総コスト費(千円)(A+C)	3,146	4,423	3,049	3,801	3,801			
人口あたりコスト(円)	511	718	495	617	617			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 0 = #DIV/0! (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	ひとり親家庭医療制度については、「児童と父」「児童と母」「児童と養育者」に対し、医療機関受診時の医療費の一部負担分の一部を助成し、受益者負担の軽減を図り、健康の保持及び福祉の増進を図る。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	医療費の一部負担分の一部を助成することで、受益者負担の軽減を図り、健康の保持及び福祉の増進を図る効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	府内での医療機関の受診の場合は、医療証を提示することで現物給付。 府外受診は、村に申請のうえ、後日償還払い。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	助成対象者には全て公平

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14 / 16	88%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	88%	#DIV/0!	#DIV/0!
a:90%以上(現状維持又は拡充) d:30~49%(休止・廃止又は縮小) b:70~89%(見直し又は現状維持) e:30%未満(休止・廃止) c:50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
ひとり親家庭の、健康保持増進のため、引き続き実施する必要があると考える。	B A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
(3)行政経営戦略会議結果	
ひとり親家庭の、健康保持増進のため、引き続き実施する必要があると考える。	B A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止